

理科読ボランティア養成・フォローアップ講座報告

理科読(りかどく)とは、科学的読み物を読んで科学に親しみ、積極的に理科を学ぼうという趣旨の造語です。理科読では、科学絵本などの読み聞かせや紹介と、理科の実験・工作を融合させ、子どもたちに体験してもらいます。

昨年度、子どもたちの科学への興味関心を高めることを目的に、それを支援する大人を養成するため理科読ボランティア養成講座を開催し、受講生らによるボランティアグループ「理科読 風ぐるま」が発足しました。現在、「理科読 風ぐるま」は、市民図書館まつりや市内の小学校などで、子どもたちに理科読を実践しています。

今年度は、ボランティアに対する活動のフォローアップと同時に、新たな会員の募集も兼ねて講座を企画・実施しました。

日時	8月10日(金) 14:00～16:00
会場	宗像ユリックス 会議室3・4
講師	土井美香子 (NPO法人ガリレオ工房 理事)
対象	・理科読ボランティア ・理科読ボランティア活動に関心があり、科学の面白さ、楽しさを子どもたちに伝える活動をしたい人
参加者数	17人(内訳: 理科読ボランティア/6人、 理科読ボランティア以外/11人)

今回は「音」をテーマに、理科読のプログラム作りの基本や注意点などについて深く学ぶことができました。

講座後、「理科読 風ぐるま」へ3人の入会者がありました。



理科読で読み聞かせに使う絵本について説明する講師



さまざまな「音作り」の体験をする受講者たち



***** 受講者の感想 *****

見たりさわったり感じたりして子どもの気持ちになってしまいました。理科読の世界を堪能しました。はじめて参加させていただきました。大人でもこんなに楽しんで好奇心を持てるので、子どもたちはどんなに興味を持つでしょうか。子どもたちの反応が実際どうなのか見て確かめたいと思いました。たくさんの絵本を紹介していただきながら、様々な音を体験することができ、私自身がまず楽しむことができました。また、理科読の本質に戻り、絵本を読むことを第一に、活動を見直したいと思いました(ボランティア)。